

読売ジャイアンツ選手の方々へ

「プロ野球チームにおける外傷・障害についての研究および予防法・治療法の開発」

ご協力をお願い

○調査の目的

所属選手の外傷や疾患を研究し、スポーツに関わる疾患の原因・治療法・予防法をアップデートまたは開発すること。またその知見を今後の診療や治療に活かしていくこと。

○調査の意義について

野球では投球動作による肩・肘・手など上肢の外傷・障害や、走塁・守備時における大腿部肉離れ、バットイング時の手指の外傷のほか、腰痛や背部痛など、数多くのスポーツ外傷・障害が生じます。これまで、各スポーツ外傷・障害の治療にあたってきましたが、チーム全体として各スポーツ外傷・障害のデータを横断的に解析することで、その原因やより良い治療法そして予防法の確立につながると考えられます。米国プロ野球界では、選手のスポーツ障害・外傷のデータを解析した研究が多くあり、それらのデータが治療の根拠となっています。本邦の野球チームにおける研究成果は少なく、日本人選手の各外傷・障害の治療法や復帰プログラムの作成には、本邦でエビデンスを構築することが重要です。また、日本では週 1 回以上スポーツをする人は 60%近くおり、本研究で得られた知見は、一般スポーツ愛好家にも活かし、スポーツ整形外科分野の発展に寄与できると考えています。

○調査の対象

読売ジャイアンツに所属している選手（予定人数 100人程度）

○調査方法

既存の診療情報を後ろ向きに解析します。具体的には、選手の情報（性別、年齢、職業、身長・体重、診断名、罹患期間、罹患側、受傷の状況、復帰時の状況、併存症、家族歴等）、症状、身体所見、血液検査所見、画像所見、手術情報をカルテやクラウド（LOOKREC,株式会社エムネス、サーバー保存先：日本）から抽出します。また、プレー動画、プレー情報（投球動作や打撃動作における生体力学解析・運動解析情報）はチームに出向いて確認するか、クラウドを介して確認します。画像所見は診察時の単純 X 線、MRI、CT、超音波を評価します。これらのデータを集計する際には、選手名は削除し、前述の各データをチーム情報と合わせ、疾患ごとに解析を行います。解析にあたっては対象者が特定できるデータ（名前、所属、ID など）を全て消去した上で、番号による匿名化を行います。匿名化の方法は対応表があり、研究対象者のプライバシー保護のため、個々の研究対象者の識別には研究対象者識別コードを用い、研究対象者の個人情報保護します。クラウドを介したデータの保存は、セキュリティ管理のある施設の部屋に常設したパソコンで行います。研究結果を公表する場合であっても、研究対象者の身元を特定できる情報は保護します。プレー動画に顔画像が含まれており、プレー情報から

も個人の識別が可能となるため、その情報の取扱いについては実施計画書に記載された方法で十分に配慮して取り扱います。この研究に参加することで新たに何かをして頂くことはありません。なお本研究は本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか、研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究の資金源として科研費と運営費を用います。

○研究の概要

タイトル: プロ野球チームにおける外傷・障害についての研究および予防法・治療法の開発

承認番号: 第 M2023-234 番

利用又は提供を開始する予定日 2023 年 12 月 28 日

研究期間: 医学部倫理審査委員会承認後から 2028 年 3 月 31 日

責任者: 東京医科歯科大学病院 整形外科(再生医療研究センター) 講師 大関信武

共同研究者: 古賀英之²、関矢一郎¹、柳下和慶³、中村智祐²、中川裕介⁴、星野傑³、片倉麻衣²、雨宮正樹³、吉原有俊²、谷本貴大¹

1) 東京医科歯科大学病院 整形外科(再生医療研究センター) 2) 同大学院 整形外科(運動器外科)
3) 同病院 高気圧治療部 4) 同軟骨再生学

○本調査へのご協力にあたって

診療録のみを用いた研究であるため、文面による同意取得は実施しておりませんが、ご自分の診療録や検査結果がこの研究で用いられることを希望されない選手は、こ遠慮なく医師に申し出下さい。今回のお願いに対して拒否をするのはあなたの自由であり、あなたの意思に基づいて決めてください。拒否されても、今後の診療に何ら不利益になることはありません。研究データは二次利用する可能性があり、その場合は新たな研究計画を立案時点で医学部倫理審査委員会に諮り、承認を得られた後に、本学生命倫理研究センターの HP にポスター掲示を行います。本調査においては、東京医科歯科大学医学部倫理審査委員会の承認及び機関の長の許可を得ています。

○研究協力の任意性と研究参加の拒否の自由について

この研究に参加するかどうかはあなたの自由です。研究へ協力を希望されない方はお申し出ください。協力されなくても不利益を受けることはありません。研究について分からないことや聞きたいことは、いつでも遠慮なくおっしゃって下さい。また、希望すればいつでも研究参加を拒否できます。研究参加を拒否されても不利な扱いを受けることはありません。研究参加の拒否時はあなたのデータは破棄します。以上の点についてご不明な点がございましたら、医師またはスタッフまでお問い合わせください。よろしくお願いいたします。

東京医科歯科大学病院 整形外科 大関信武 〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 03-5803-5678 (平日 9:00-17:00) 苦情窓口:東京医科歯科大学医学部総務係 03-5803-5096(対応可能時間:平日 9:00-17:00)